

**鳥取短期大学 令和6年度 キャリア形成支援教育に関する
調査（雇用主アンケート）結果報告**

鳥取短期大学 キャリア支援課

令和6年度 雇用主アンケート概要

鳥取短期大学の卒業生（令和4年3月～令和6年3月卒業）を雇用している企業および施設（鳥取県、島根県、その他地域）を対象に、本学におけるキャリア支援形成教育に関するアンケート調査を実施した。

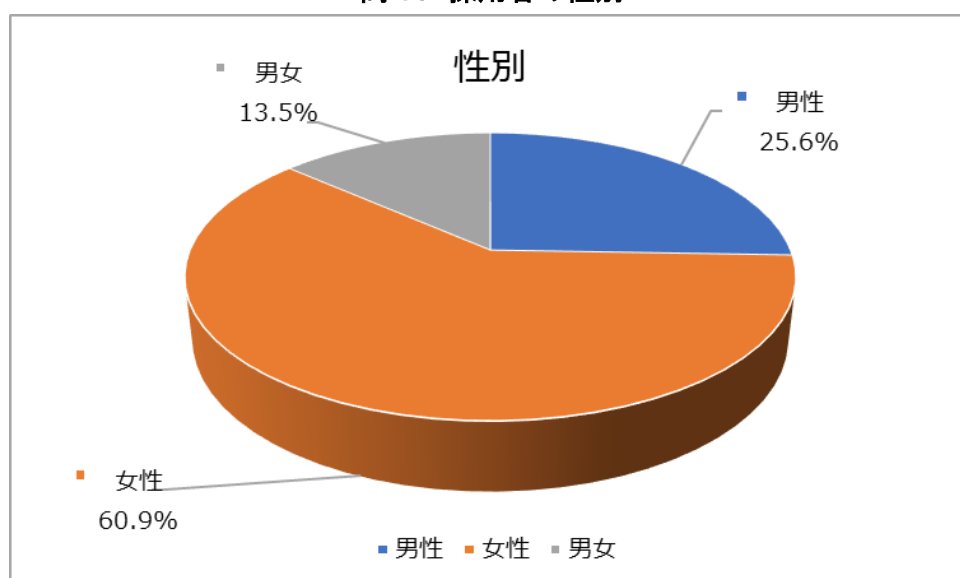
目的：本学、学生のキャリア形成支援・教育の向上およびキャリア教育に活かす。

アンケート実施期間：令和6年12月12日から令和7年1月31日

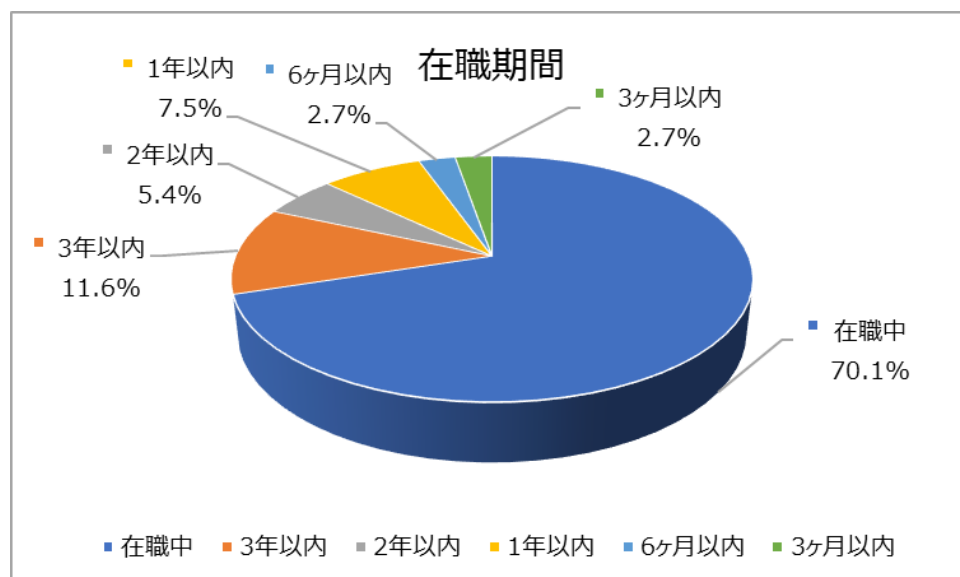
1. 令和6年度 雇用主アンケート集計結果報告

（回収率 47.9%：135 施設/282 施設）

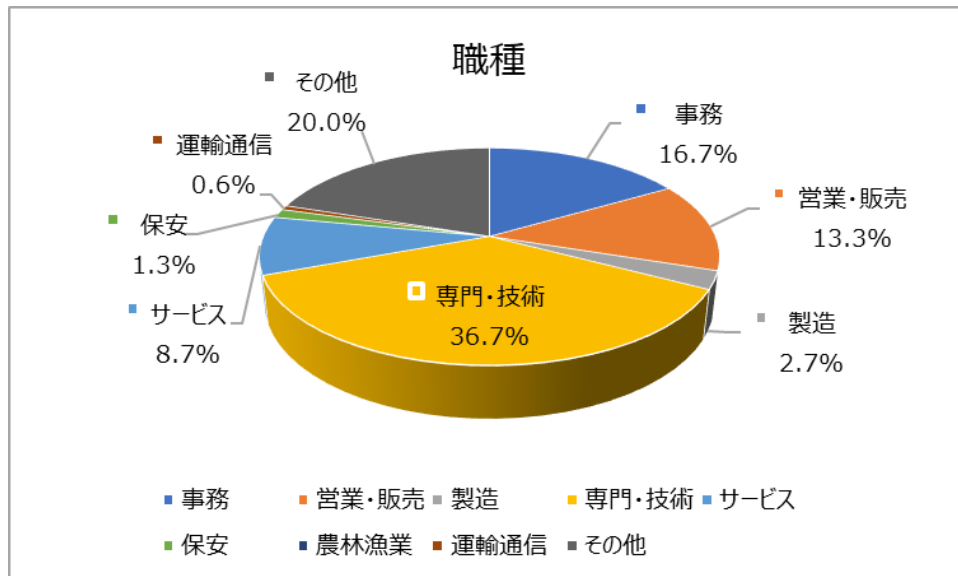
問1. 採用者の性別



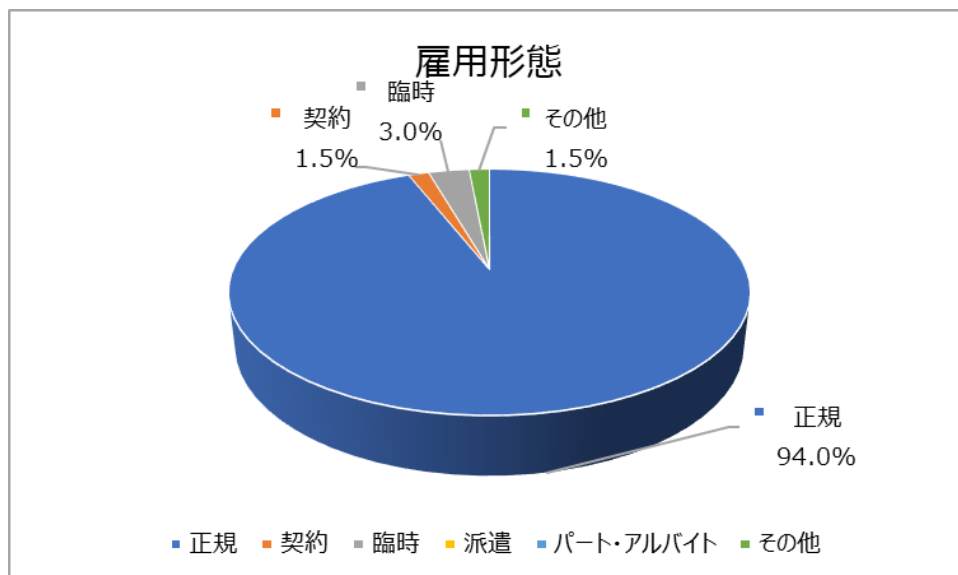
問2. 採用者の在職期間



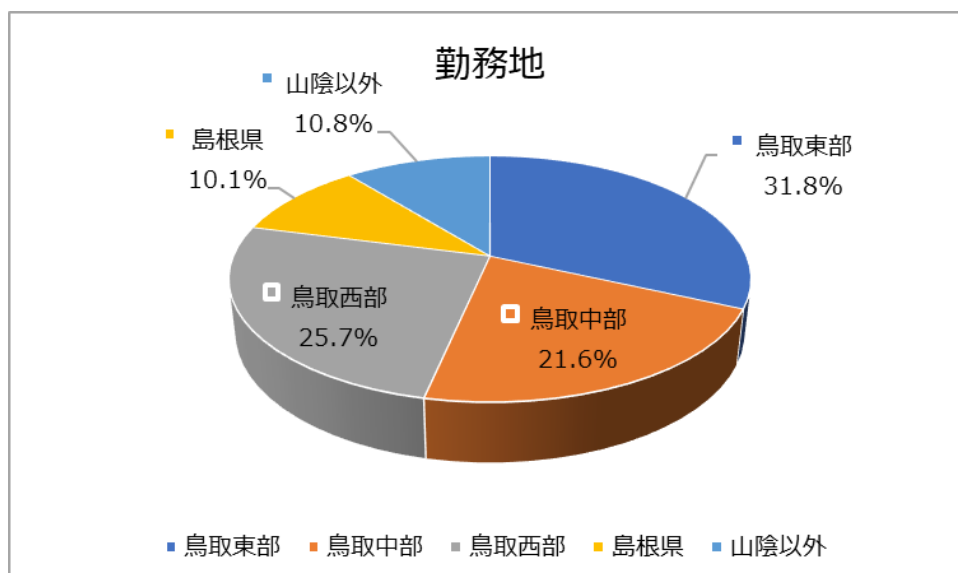
問 3. 採用者の職種



問 4. 採用者の雇用形態



問 5. 勤務地

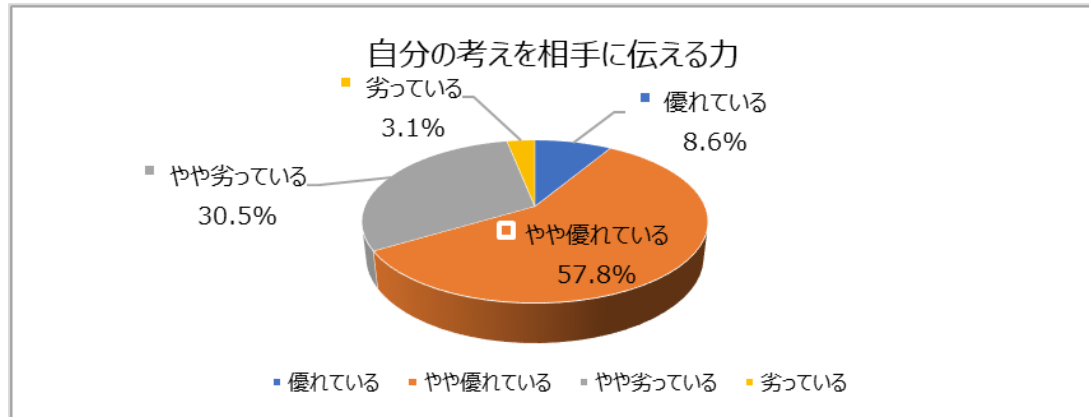


《鳥取短期大学の卒業生の社会人基礎力について》

回答方法：社会人基礎力質問 10 項目について 4 件法で回答。

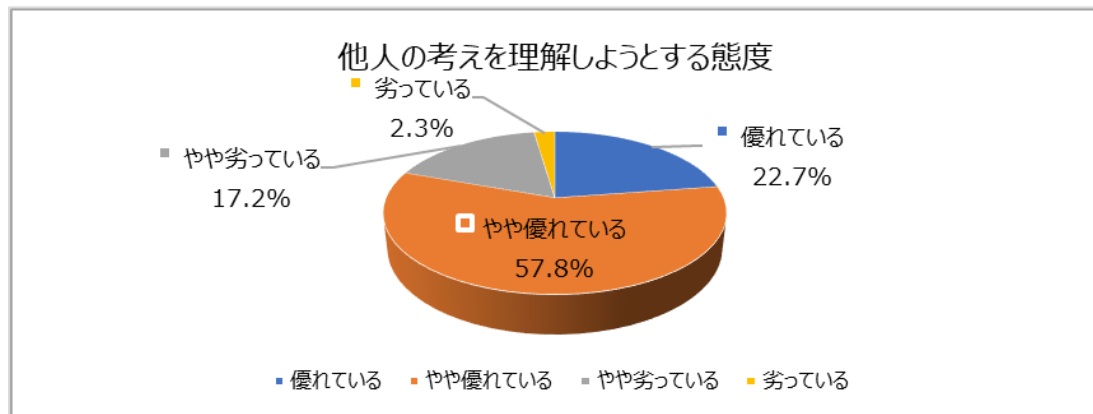
問 6-1 自分の考えを相手に伝える力

「優れている」8.6%、「やや優れている」57.8%であり、「やや劣っている」30.5%、「劣っている」3.1%であった。



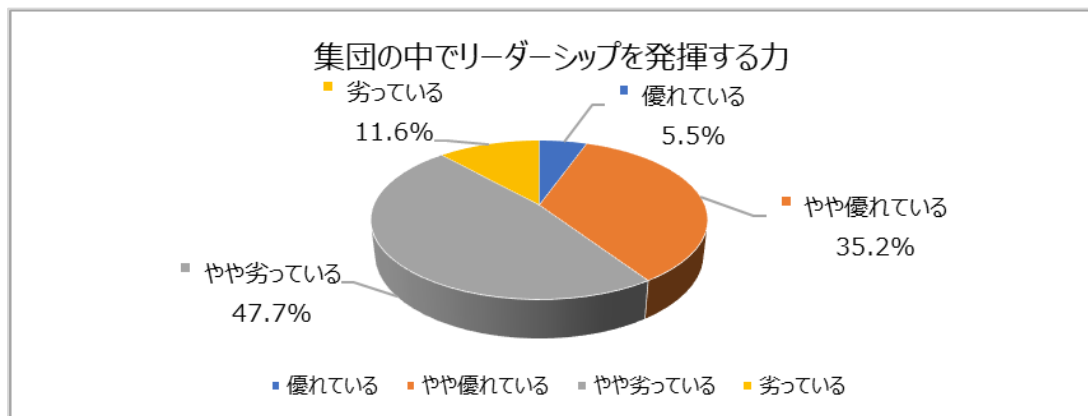
問 6-2. 他人の考えを理解しようとする態度

「優れている」22.7%、「やや優れている」57.8%であり、「やや劣っている」17.2%、「劣っている」2.3%であった。



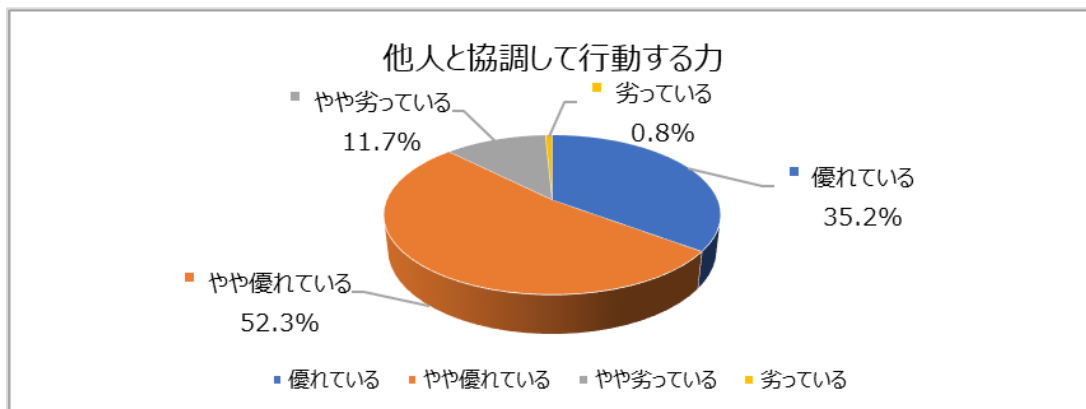
問 6-3. 集団の中でリーダーシップを発揮する力

「優れている」5.5%、「やや優れている」35.2%であり、「やや劣っている」47.7%、「劣っている」11.6%であった。



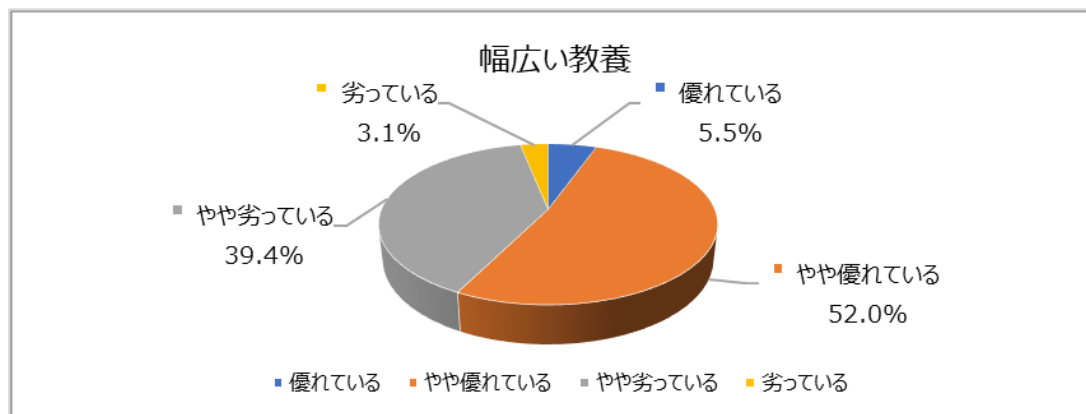
問6-4. 他人と協調して行動する力

「優れている」35.2%、「やや優れている」52.3%であり、「やや劣っている」11.7%、「劣っている」0.8%であった。



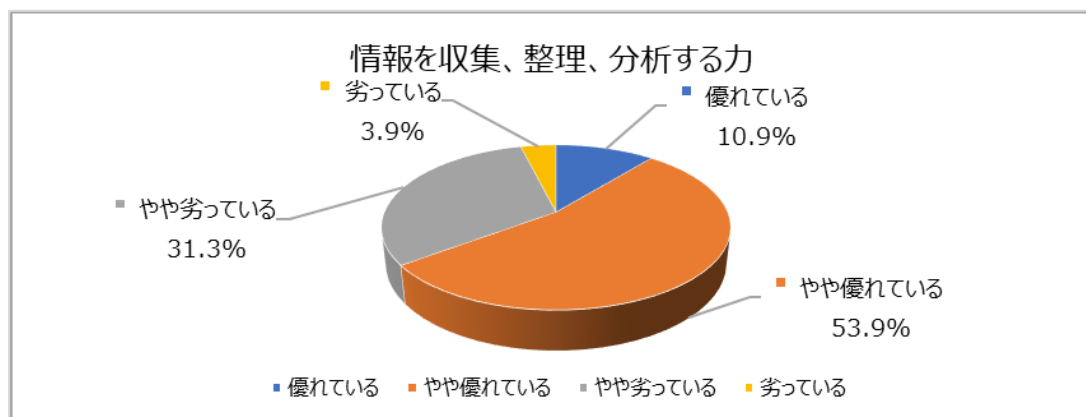
問6-5. 幅広い教養

「優れている」5.5%、「やや優れている」52.0%であり、「やや劣っている」39.4%、「劣っている」3.1%であった。



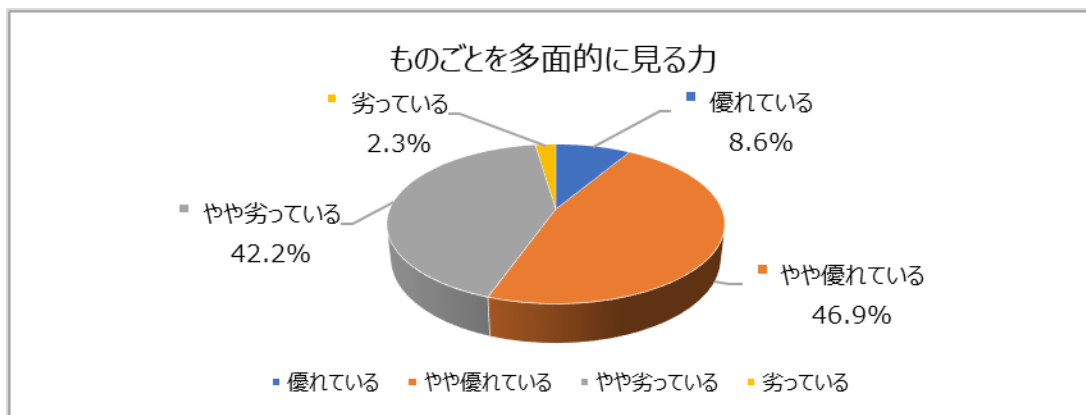
問6-6. 情報を収集、整理、分析する力

「優れている」10.9%、「やや優れている」53.9%であり、「やや劣っている」31.3%、「劣っている」3.9%であった。



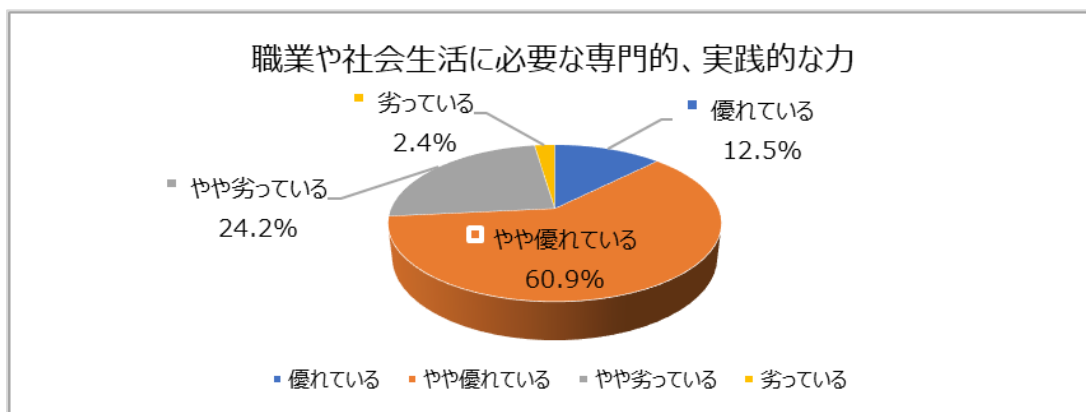
問6-7. ものごとを多面的に見る力

「優れている」8.6%、「やや優れている」46.9%であり、「やや劣っている」42.2%、「劣っている」2.3%であった。



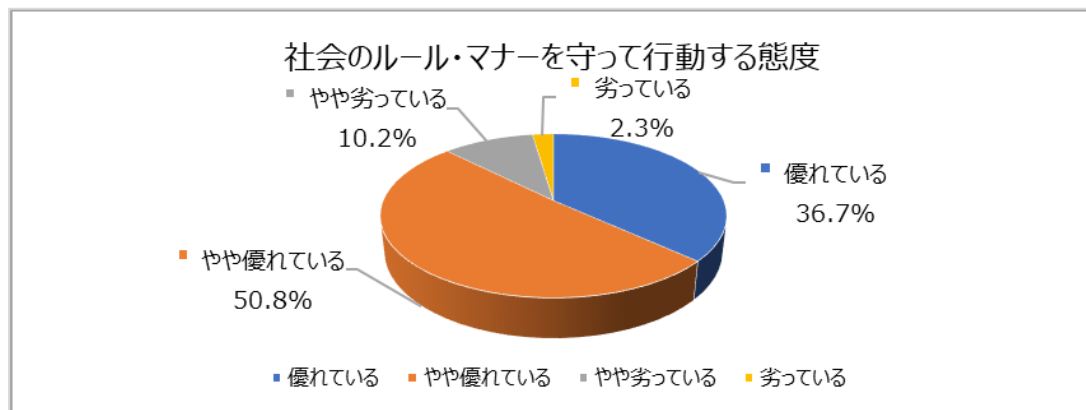
問6-8. 職業や社会生活に必要な専門的、実践的な力

「優れている」12.5%、「やや優れている」60.9%であり、「やや劣っている」24.2%、「劣っている」2.4%であった。



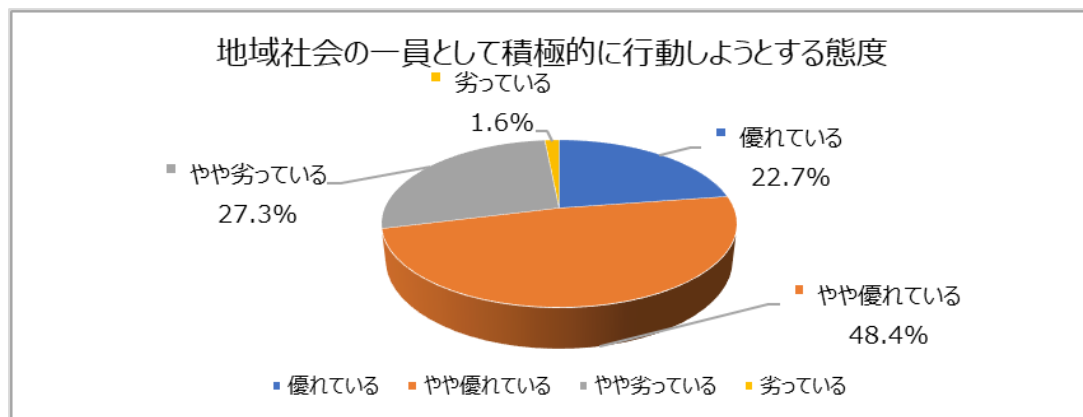
問6-9. 社会のルール・マナーを守って行動する態度

「優れている」36.7%、「やや優れている」50.8%であり、「やや劣っている」10.2%、「劣っている」2.3%であった。



問6-10. 地域社会の一員として積極的に行動しようとする態度

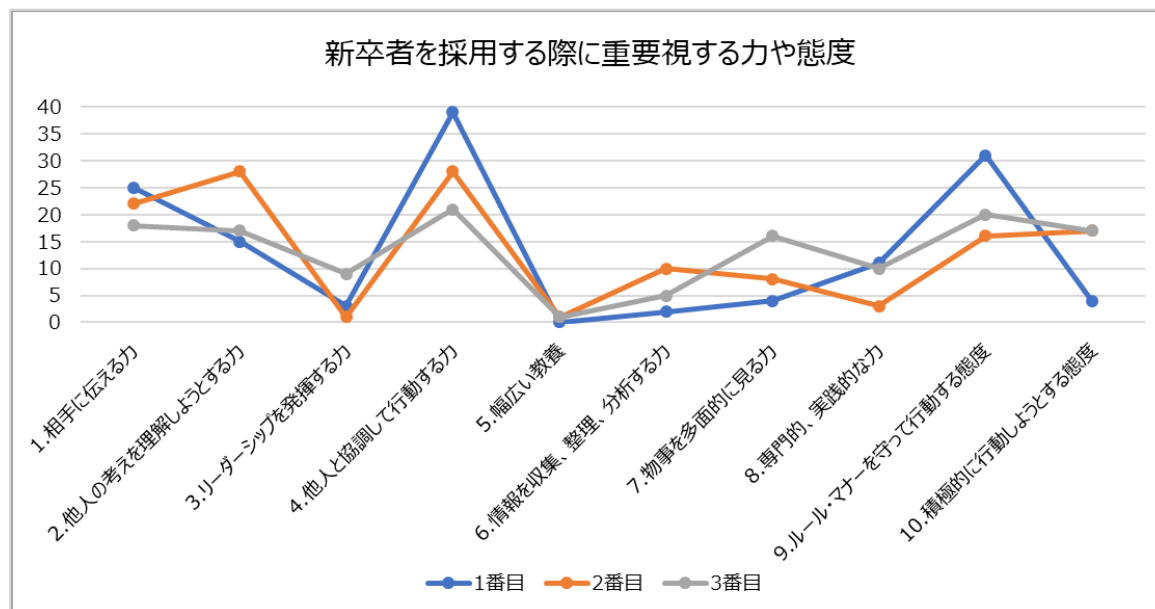
「優れている」22.7%、「やや優れている」48.4%であり、「やや劣っている」27.3%、「劣っている」1.6%であった。



問7. 新卒者を採用する際に重要視する力や態度

「他人と協調して行動する力」が最も多く、次いで「ルール・マナーを守って行動する態度」「相手に伝える力」であった。

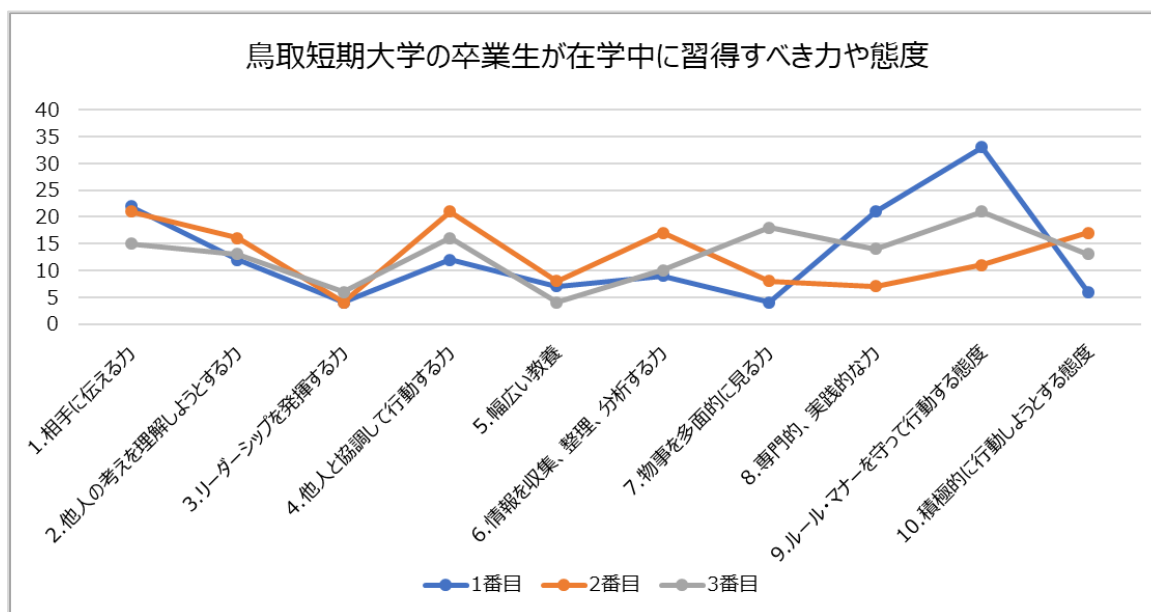
新卒者採用時、重要視するのは、他人との協調性、ルール・マナーを守って行動する、相手に伝える力のポイントが高く、リーダーシップ、幅広い教養のポイントが低い



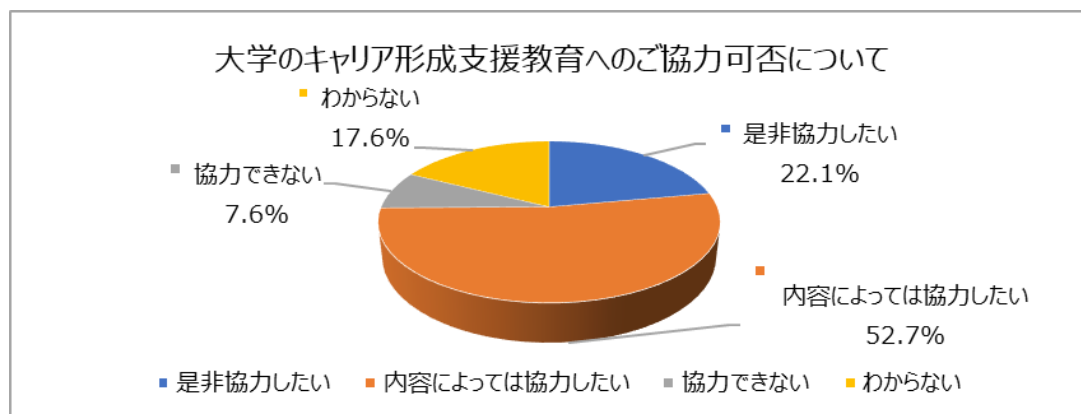
問7. 鳥取短期大学の卒業生が在学中に習得すべき力や態度

「ルール・マナーを守って行動する態度」が最も多く、次いで「相手に伝える力」「専門的、実践的な力」であった。

卒業生が在学中に習得すべき力や態度について、重要視するのは、ルール・マナーを守って行動する、相手に伝える力、専門的、実践的な力のポイントが高く、リーダーシップ、幅広い教養のポイントが低い



問8. 大学のキャリア形成支援教育へのご協力可否について



【まとめ】

鳥取短期大学の卒業生の社会人基礎力は、相手の考えを理解しようとする態度や他人と協調して行動する力、ルール・マナーを守って行動する態度が優れていると評価されている。一方、集団の中でリーダーシップを発揮する力についてはやや劣っているとの評価であった。また、採用時に重視する力や態度については、他人と協調して行動する力、ルール・マナーを守って行動する態度、相手に伝える力の重要度が高く、リーダーシップや幅広い教養については、あまり重視されない結果となった。

本アンケート結果が、本学の教育課程検討の一助となれば幸いである。

令和6年度 キャリア形成支援教育に関する調査 アンケート用紙

記入年月日 令和 年 月 日

注) 2022年4月1日以降、本学の卒業生で新卒採用していただいた方を対象に記入してください。該当者が複数名ある場合は、平均的なケースとしてお答えください(複数回答可)。

Q.01 採用者の性別

A.01 1. 男性 2. 女性

Q.02 採用者の在職期間

A.02 1. 在職中 2. 3年以内 3. 2年以内 4. 1年以内 5. 6ヶ月以内
6. 3ヶ月以内

Q.03 採用者の職種

A.03 1. 事務 2. 営業・販売 3. 製造 4. 専門・技術 5. サービス 6. 保安
7. 農林漁業 8. 運輸通信 9. その他

Q.04 採用者の雇用形態

A.04 1. 正規職員 2. 契約職員 3. 臨時職員 4. 派遣職員 5. パート・アルバイト
6. その他

Q.05 勤務地

A.05 1. 鳥取県東部 2. 鳥取県中部 3. 鳥取県西部 4. 島根県 5. 山陰以外

【裏面へつづく】

Q.06 鳥取短期大学の新卒採用者の状況についてお尋ねします。

以下に示す1～10の職務上の能力について、右側の回答肢より、該当する数字に○をつけて下さい。

A.06

	①優れている	②やや優れている	③やや劣っている	④劣っている
1. 自分の考えを相手に伝える力	1	2	3	4
2. 他人の考えを理解しようとする態度	1	2	3	4
3. 集団の中でリーダーシップを発揮する力	1	2	3	4
4. 他人と協調して行動する力	1	2	3	4
5. 幅広い教養	1	2	3	4
6. 情報を収集、整理、分析する力	1	2	3	4
7. ものごとを多面的に見る力	1	2	3	4
8. 職業や社会生活に必要な専門的、実践的な力	1	2	3	4
9. 社会のルール・マナーを守って行動する態度	1	2	3	4
10. 地域社会の一員として積極的に行動しようとする態度	1	2	3	4

Q.07 新卒者を採用する際に、重要視する力や態度及び鳥取短期大学の卒業生が在学中に習得すべき力や態度についてお尋ねします。以下の1～10の項目から、重要視する順番に3つを選んで、その番号を右欄にお答え下さい。

- A.07
1. 自分の考えを相手に伝える力
 2. 他人の考えを理解しようとする力
 3. 集団の中でリーダーシップを発揮する力
 4. 他人と協調して行動する力
 5. 幅広い教養
 6. 情報を収集、整理、分析する力
 7. ものごとを多面的に見る力
 8. 職業や社会生活に必要な専門的、実践的な力
 9. 社会のルール・マナーを守って行動する態度
 10. 地域社会の一員として積極的に行動しようとする態度

●新卒者を採用する際に、重要視する力や態度

順 番	項 目 番 号
1番目	
2番目	
3番目	



●鳥取短期大学の卒業生が在学中に習得すべき力や態度

順 番	項 目 番 号
1番目	
2番目	
3番目	

その他、大学のキャリア形成支援教育へのご協力の可否についてお尋ねします。

Q.08 大学におけるキャリア形成支援教育で、社会の実状やどのような変化にも対応できる学生の育成を目指すにあたり、「社会人講話」や「企業等における課題解決」等をテーマに授業を展開していく予定です。そのような授業への協力を依頼した場合、最もあてはまるものを次から選択してください。

- A.08 1. 是非協力したい 2. 内容によっては協力したい 3. 協力できない 4. わからない

ご協力ありがとうございました。